

チューリッヒ生命、「新契約」システムの基盤に、 アシスト提供の「Progress Corticon」と「DataSpider Servista」を活用

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大塚辰男、略記:アシスト)が提供する BRMS*1「Progress Corticon」(開発元:米国 Progress Software Corporation)とデータ連携プラットフォーム「DataSpider Servista」(開発元:株式会社アプレzzo)が、チューリッヒ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド(日本支店:東京都中野区、日本における代表者兼最高経営責任者:太田 健自、略記:チューリッヒ生命)の「新契約」システム*2におけるルールエンジンおよびデータ連携ハブとして採用されたことを発表します。

*1:ビジネスルール管理システム *2:新規保険申込から査定、成立処理までが対象

チューリッヒ生命は、2012年に検討を開始した、今後の成長戦略を実現するための経営計画「100日計画」を2013年1月より実行フェーズに移しました。「革新的保障商品プレミアムシリーズ」の開発、「利便性が高く、お客さまの選択権の活かせるマルチ・チャネル体制」の構築、「高品質なサービスの提供、チューリッヒ・クオリティ(Z.Q)」の発展の3本柱を持つ3ヵ年プロジェクトが立ち上がり、「新契約」システムの見直しについても検討しました。

当時、チューリッヒ生命の「新契約」業務は、保険商品ごとに異なる複数枚の申込書類をベースに、情報登録から引受査定までが直線的に行われていたため、業務全体の進捗状況が把握しにくいという課題を抱えていました。また、旧システムの申込入力画面のユーザビリティが低かったことや、商品数の増加に伴い引受査定時のチェックポイントが増加・複雑化していたことから、データ投入から入力点検、査定作業それぞれが担当者のスキルに依存し、かなりの時間を要していました。さらにシステム面でも、新商品が出るたびに業務ロジックをすべてプログラム内に埋め込んでおり、メンテナンス性に欠けITコスト増になっていたことから、2014年夏に、抜本的なシステム更改を決定しました。

「新契約」システムでは、データ入力業務のセンター化、ビジネスルール・エンジンやワークフローなどの導入により、情報や判断を「セントラライズ」することで、従来よりも効率的で顧客を中心に据えた保険ライフサイクルの実現を目指すことになりました。そこで、複数製品を検討した結果、データ入力チェックから自動査定にいたるまでのルールエンジンとして「Progress Corticon」を、また既存システムや新規システムとの連携を鑑み、データ一元化の実現に向けて「DataSpider Servista」をアシストからの提案を受け、採用しました。チューリッヒ生命が「Progress Corticon」と「DataSpider Servista」を採用した主な理由は以下のとおりです。

1. データ入力不備チェックなどのビジネスルールやロジックを集約し、処理を自動化することで、並行処理も可能となり、業務スピードの大幅向上と作業者のスキルに依存しない高いレベルの品質確保が期待できる。
2. 上記の実現に加え、両製品ともに、将来的な商品追加、法改正などの環境変化にも柔軟かつ簡単に対応できる機能や性能を備え、運用保守も容易な点を評価した。
3. 国内での両製品の導入実績(特に保険業界における「Progress Corticon」の導入実績)と、安価な導入コストを評価した。

チューリッヒ生命では2015年1月から開発を進め、予定通り同年9月に約8,000ものビジネスルールを実装した「新契約」システムをリリースしました。「Progress Corticon」を利用して、チェックだけでなく不備内容を分析し対応方法をきめ細かくユーザに提示するところまでをシステムに実装、また「DataSpider Servista」により業務で利用するデータを「清流化」したことにより、保険の新規受付件数が以前の約3.5倍に増加するも、申込受付から契約成立までの時間を従来の約半分に短縮することに成功しました。

チューリッヒ生命 情報システム本部 開発部 部長 金子 稔功様は、次のように語っています。「新契約システムの刷新においてProgress CorticonとDataSpider Servistaの両ソリューションが果たした役割は大きく、期待以上の成果を得ることができました。2016年12月、2017年4月にリリースを予定している保全システムのみならず、保険金支払システムやその他管理システムにおいても適用範囲を拡大し、さらなる業務効率化や生産性向上を図っていく予定です」

■「Progress Corticon」について

Progress Corticon は、世界 40 カ国以上で利用されているビジネスルール管理システム(BRMS)です。ビジネスルールの変更をコーディングレスでシステムに反映することができ、開発や変更に費やされる作業時間を 90%*3 も短縮します。 *3 Progress Software Corporation 調べ

■「DataSpider Servista」について

「DataSpider Servista」は、システムの接続方法やフォーマットの違いを意識することなく、すばやく簡単に「つなぐ」ことができるデータ連携ソフトウェアです。プログラミングの高い知識を必要としない GUI 開発環境を提供し、クラウドや SAP、データベースといった様々なタイプのデータを手軽に接続できるアダプタを介して、データ連携の自動化と業務の効率化を支援します。

■チューリッヒ生命について

日本における代表者兼最高経営責任者: 太田 健自

設立: 1996年(日本)

従業員数: 221 名(2016 年 3 月 31 日現在)

本社: 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス 16 階

事業内容: 生命保険商品・サービスの提供

URL: <http://www.zurichlife.co.jp/>

■株式会社アシストについて

代表取締役会長: ビル・トッテン / 代表取締役社長: 大塚 辰男

設立: 1972 年 3 月

従業者数: 1,070 名(2016 年 4 月現在) ※グループ会社含む

本社: 東京都千代田区九段北 4-2-1

URL: <https://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。「パッケージ・インテグレーター」として複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースを中心に、近年ではクライアント仮想化やビジネスルール管理分野も拡充し支援しています。今年も「お客様の最高」のために」というスローガンのもと、これらの分野にさらに注力し、顧客企業の立場に立った製品選定と独自の組み合わせによる製品／サービスの提供を一層強化し、活動していきます。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当: 田口、岡部、吉田

TEL: 03-5276-5850 URL: <https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

■製品に関するお問い合わせ

(Progress Corticon)

株式会社アシスト 情報基盤事業部 担当:小林誠、遠藤

TEL:03-5276-3653

URL:https://www.ashisuto.co.jp/product/category/brms/progress_corticon/

(DataSpider Servista)

株式会社アシスト 情報基盤事業部 ビジネス推進部 担当:宇野

TEL:03-5276-3653

詳細 URL:<https://www.ashisuto.co.jp/product/category/etl/dataspider/>

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。